

鴨川市コミュニティバス
平成 29 年度運行実績について

平成 30 年 6 月

鴨川市経営企画部企画政策課

[目 次]

1 運行の概要	- 2 -
(1) 運行概要	- 2 -
(2) 運賃	- 2 -
2 運行等の実績	- 3 -
(1) 総輸送者数	- 3 -
(2) 1 便当たり輸送人員	- 4 -
(3) 有料広告の受付状況について（※平成 29 年度中に受け付けたもの）	- 4 -
(4) 収支	- 5 -
(5) 10 人以上の乗車実績	- 5 -
3 ノーカー・サポート優待証について	- 6 -

1 運行の概要

(1) 運行概要

- ・北ルート
- ・清澄ルート
- ・南ルート

	路線名	運行区間	運行本数 (往復)	運行日数 (日)	キロ程 (k m)	停留所 (箇所)
1	北ルート	金山ダム ⇄ 内浦山県民の森	3.0	365	27.05	
		金山ダム ⇄ 鴨川駅西口	1.0	365	7.39	
		路線計	4.0	365	27.05	59 (※1)
2	清澄ルート	天津小湊支所 ⇄ 奥清澄	7.0(6.5) (※4)	365	12.89	
		路線計	7.0(6.5)	365	12.89	20 (※2)
3	南ルート	鴨川駅前 ⇄ 曾呂終点	3.0	365	27.40	
		鴨川駅西口 ⇄ 曾呂終点	1.0	365	15.78	
		鴨川駅前 ⇄ 浦の脇	1.0	365	4.05	
		路線計	5.0	365	27.40	53 (※3)
合計			16.0 (15.5)	365	－	－

(※1) 重複停留所数 (南ルート：10、清澄ルート：2)

(※2) 重複停留所数 (北ルート：2)

(※3) 重複停留所数 (北ルート：10)

(※4) 4月～9月は7往復、10月～3月は、6.5往復 (下り第7便が季節運行のため)

(2) 運賃

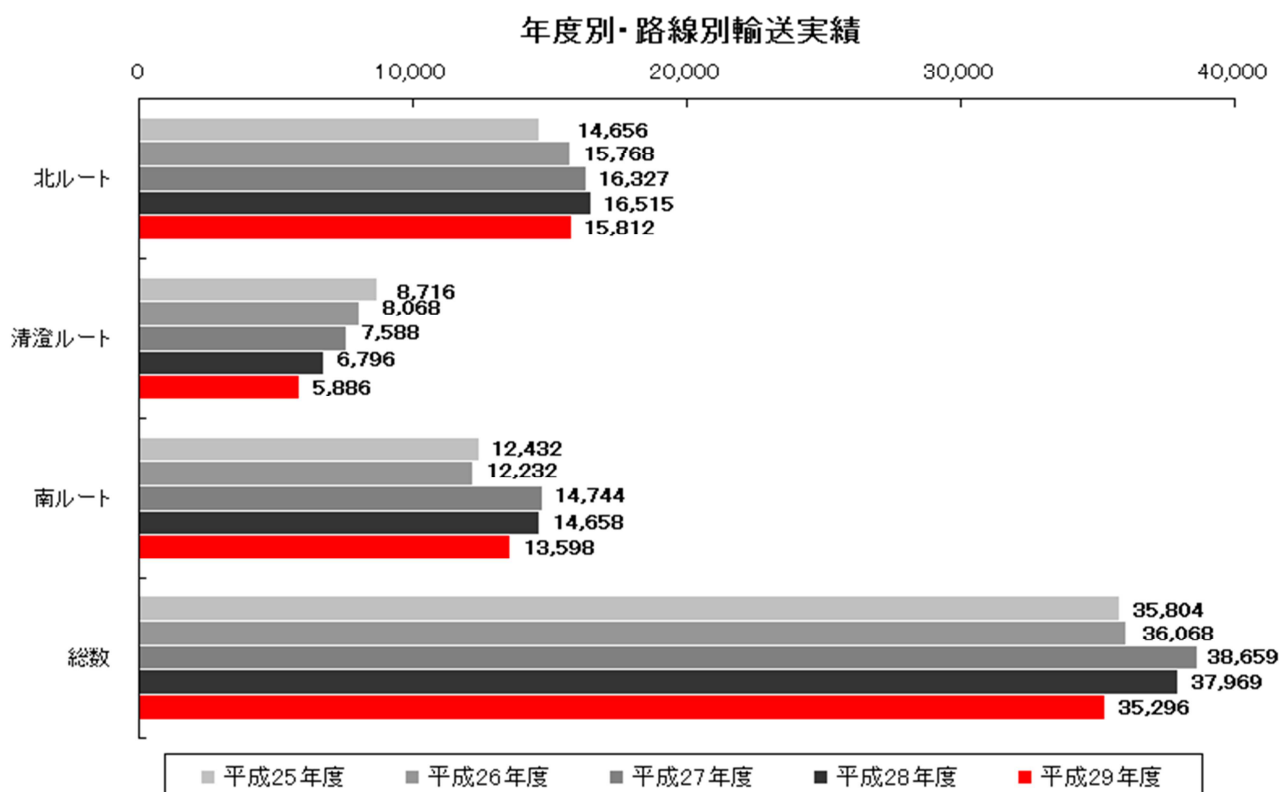
	路線名	形態	通常運賃	特 例
1	北ルート	対キロ区間制	150 円～860 円	(半額) 小学生、身体障害者手帳・療育手帳・ノー カーサポート優待証所持者、精神障害者保 健福祉手帳の交付を受けた者及び介護人 (無料) 未就学児童
2	清澄ルート	簡素化制	200 円・400 円	
3	南ルート	対キロ区間制	150 円～740 円	

2 運行等の実績

(1) 総輸送者数

平成29年度の輸送実績は35,296人で、平成28年度の37,969人から延べ2,673人・7.04%と大幅に減少した。

路線別の輸送実績を見ると、北ルートは増加傾向から一転し、延べ703人・4.26%の減少、清澄ルートが延べ910人・13.39%の減少、南ルートについては、延べ1,060人・7.23%の減少であった。



○年度別・系統別輸送実績

[人]

	ル ー ト	系 統	H29	H28	H27	H26	H25	比較増減 (H29-H28)
1	北	金山ダム ⇨内浦山県民の森	15,038	15,237	14,984	14,315	13,088	▲199
		金山ダム ⇨鴨川駅西口	774	1,278	1,343	1,453	1,568	▲504
		小 計	15,812	16,515	16,327	15,768	14,656	▲703
2	清澄	天津小湊支所 ⇨奥清澄	5,886	6,796	7,588	8,068	8,716	▲910
		小 計	5,886	6,796	7,588	8,068	8,716	▲910
3	南	鴨川駅前 ⇨曾呂終点	9,733	9,519	9,935	10,737	11,051	214
		鴨川駅西口 ⇨曾呂終点	3,192	4,203	4,088	674	811	▲1,011
		鴨川駅前⇨浦の脇	673	936	721	821	570	▲263
		小 計	13,598	14,658	14,744	12,232	12,432	▲1,060
合 計			35,296	37,969	38,659	36,068	35,804	▲2,673

(2) 1 便当たり輸送人員

1 便当たりの輸送人員が最も高い数値であったのは、北ルートの金山ダム⇄内浦山県民の森間で、0.1 人/便減少し 6.9 人/便となり、北ルート全体としては、5.7 人/便から 5.4 人/便へと 0.3 人/便の減少となった。

南ルートについては、鴨川駅前⇄曾呂終点間が、平成 28 年度の 4.3 人/便から 4.4 人/便へと 0.1 人/便増加したが、鴨川駅西口⇄曾呂終点間が、5.8 人/便から 4.4 人/便へと 1.4 人/便大きく減少した。鴨川駅前⇄浦の脇間については、0.4 人/便と減少し、南ルート全体では、減少に転じた。

清澄ルートについては 1.4 人/便から 1.2 人/便へと 0.2 人/便の減少であった。

全ルートの合計では、平成 28 年度と比較し、0.2 人/便減少の 3.1 人/便となった。

○年度別・路線別 1 便当たりの輸送人員

	ル ー ト	運行区間	運行回数 (往復)	路線別 1 便当たりの輸送人員					(人/便)
				H29	H28	H27	H26	H25	増減 (H29-H28)
1	北	金山ダム ⇨内浦山県民の森	3.0	6.9	7.0	6.8	6.5	6.0	▲0.1
		金山ダム ⇨鴨川駅西口	1.0	1.1	1.8	1.8	2.0	2.1	▲0.7
		路線計	4.0	5.4	5.7	5.6	5.4	5.0	▲0.3
2	清澄	天津小湊支所 ⇨奥清澄	7.0 (6.5)	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	▲0.2
		路線計	7.0 (6.5)	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	▲0.2
3	南	鴨川駅前 ⇨曾呂終点	3.0	4.4	4.3	4.5	4.9	5.0	0.1
		鴨川駅西口 ⇨曾呂終点	1.0	4.4	5.8	5.6	0.9	1.1	▲1.4
		鴨川駅前⇨浦の脇	1.0	0.9	1.3	1.0	1.1	0.8	▲0.4
		路線計	5.0	3.7	4.0	4.0	3.4	3.4	▲0.3
合計			16.0 (15.5)	3.1	3.3	3.4	3.3	3.3	▲0.2

(3) 有料広告の受付状況について（※平成 29 年度中に受け付けたもの）

受付	広告主	業種	掲載場所	掲載期間	規格[mm]	広告料
1	A 社	美容室	北・南ルート バス車体後部 及び バス車内天井 R 面	H29.10 ～H30.3	400×800 A 3 版 (横) 364×515	35,040
2	B 社	福祉介護施設	北ルート バス車体後部	H29.12 ～H30.2	200×1000	3,600
計						38,640

(4) 収支

平成 28 年度と比較すると、運行費用は 522 千円・1.6%増加し、運行収入は 399 千円・6.1%減少した。なお、車両広告にかかる収入は、2 件・24 千円から 2 件・39 千円と増加した。

収入と支出の差し引きが 27,622 千円と 906 千円増加した結果、収益率は平成 28 年度と比較して 3.4%悪化した。

乗客 1 人当たりの市負担額は、平成 28 年度から 79 円増加し 783 円であった。

また、当該コミュニティバスは、平成 27 年 4 月運行分から国庫補助対象となっており、平成 29 年度は 8,364 千円を収入した。

項 目		H29 (千円)	H28 (千円)	比較増減 (H29-H28)	
				増減 (千円)	増減率 (%)
運行事業者 (委託先)		鴨川日東バス(株)	鴨川日東バス(株)	—	—
支出	運行費用	33,843	33,321	522	1.6
収入	運行収入	6,182	6,581	▲399	▲6.1
	広告収入	39	24	15	62.5
差し引き		▲27,622	▲26,716	▲906	▲3.4
収益率		18.4%	19.8%	—	▲1.4
国庫補助 (平成 29 年度分)		8,364	10,153	▲1,789	▲17.6
乗客 1 人当たり市負担額 (括弧内は国庫補助含む)		783 円 (546 円)	704 円 (436 円)	79 円 (110 円)	11.2 (25.2)

※増減の額及び率について、端数処理の都合上、表の数値による計算と一致しない場合があります。

(5) 10 人以上の乗車実績

平成 29 年度において、同時に 10 人以上が乗車した便数は、全ルートで 387 便 (全便数 11,498 便の 3.4%) であり、平成 28 年度と比べて 59 便・約 13.2%の減少となった。

ルート別に見ると、北ルート・南ルートが減少、清澄ルートは横ばいとなった。

○10 人以上の乗車便数

	ルート	使用車両 (乗車定員)	H29	H28	H27	H26	H25	増減 (H29-H28)		最大 乗車人員 [人]
			[便]	[便]	[便]	[便]	[便]	[便]	[%]	
1	北	日野ポンチョ (27)	201	240	207	208	150	▲39	▲16.3	39
2	清澄	トヨタハイエース (12)	17	17	15	15	17	0	0	23
3	南	日野ポンチョ (27)	169	189	199	26	17	▲20	▲10.6	25
合 計			387	446	421	249	184	▲59	▲13.2	—

3 ノーカー・サポート優待証について

高齢運転者による交通事故の抑止と公共交通の利用促進を図るため、運転免許を自主的に返納した65歳以上の高齢者を対象に交付する「ノーカー・サポート優待証」による運賃半額割引制度（高速バスを除く）が平成23年7月1日から日東交通グループ4社において一斉に施行されており、コミュニティバスにおいても、同制度による運賃割引を可能としている。

この平成29年度における発行状況及び利用者数は下表のとおりであった。

まず、発行枚数を見ると、平成27年度に53枚、平成28年度に63枚、平成29年度には66枚と増加傾向にある。

また、コミュニティバスでの利用者数（延べ使用回数）についても、平成27年度には873回、平成28年度には870回、平成29年度には926回の利用があり、増加傾向にあることから、当該制度の一定の普及が図られていると考えられる。

発行年月	発行枚数	利用者数（延べ使用回数）	
		鴨川日東バス管内	うちコミュニティバス分
H29. 4	3	262	69
H29. 5	3	251	81
H29. 6	6	279	78
H29. 7	5	266	70
H29. 8	8	281	84
H29. 9	6	294	72
H29.10	2	273	69
H29.11	5	265	71
H29.12	10	288	88
H30. 1	8	294	85
H30. 2	4	259	83
H30. 3	6	244	76
平成29年度計	66	3,256	926
～平成28年度	225	10,608	2,768
累計	291	13,864	3,694

※利用者数は乗務員からの報告による。

※利用路線は、下記のとおり（高速バスは利用不可）

- 1) 市内線 2) 木更津線 3) 長狭線 4) 金谷線 5) 館山鴨川線 6) 大学線
7) 太海線 8) コミュニティバス